

令和6年度 国語科 「国語研究Ⅰ」 シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	理数科 2年H組
教科書	文学国語（大修館書店） 古典探究 古文編（大修館書店） 古典探究 漢文編（大修館書店）	副教材等	「新訂総合国語便覧」（第一学習社）、「音と形で覚える漢字の演習改訂版」（明治書院）、「評論・小説を読むための新現代文単語改訂版」（第一学習者）、「読み・解き・覚える新版日本文学史必携」（第一学習社）、「イラストとシーンでおぼえるLook@古文単語337」（京都書房）、「完全マスター古典文法」（第一学習社）、「完全マスター古典文法準拠ノート実力養成」（第一学習社）、「精選漢文」（尚文出版）、「精選漢文ノート」（尚文出版）

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
前期	4	・近代を代表する作家の日本文化論を読み味わい、独自のものの見方・考え方を理解するとともに、作品が書かれた背景や、他作品との関係にも関心を広げること。	創作を生み出す想像力に触れる	随想・評論 「陰影礼賛」 谷崎潤一郎	・日常生活に潜む「陰翳」の効果について、どのような表現が用いられているか整理し、筆者の美意識を確認する。 ・「闇」が効果的な働きをしている日常生活の例を挙げ、筆者の「闇」に対する考え方をまとめる。	行動の観察 記述の確認	
	5	・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。	登場人物の心情を理解する	古文『十訓抄』 「大江山いくのの道」	・描かれた登場人物それぞれのことばを具体的におさえながら、心情の変化や批判的思考を読み取る。	行動の観察	
	6	・人物像を文章中の表現から正確に読み取り、心情やテーマの解釈を深めること。	人物描写や表現効果に着目しながらテーマを考える	小説 「美神」 三島由紀夫	・人物像を含めた対比的な描写を読み取り、R博士の最期の言葉に至る心情、物語の展開を辿る。	行動の確認 ワークシート分析	
				第1回考査			
	7	・古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・不思議な世界との遭遇を描いた小説を通し、情景や心情を正確に読み取ること。	新たな表現を支える典故の力を理解する	漢文 『世説新語』 「漱石枕流」 『淮南子』 「塞翁馬」	・登場人物のことばや行動を正確に読み取り、故事成語を理解する。 ・中国古代のものの見方、感じ方や考え方を理解する。	行動の観察	
	8	・他の作品との関係を踏まえながら、その内容の解釈を深めることができる。	小説から情景や心情を読み取る	小説 「山月記」 中島敦	・作中人物のやり取りに注目し、小説の会話の表現方法を理解する。 (言語活動) 構成と展開を工夫して、変身物語構成と展開を整理し、登場人物の言動を的確に理解し、中島敦の『山月記』と読み比べる。	行動の確認	
	9		作品世界と構成を分析し、表現効果を理解する	漢文 『唐人説薈』 「人虎伝」		行動の観察 ワークシート分析	
				第2回考査			
			・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。	「自己」を追い求める近代の特色について考える	小説 「こころ」 夏目漱石	・夏季休業中に「こころ」全編を読んでおき、感想を話し合う。 ・人間関係をおさえて、「私」の観察と分析、心理の揺れ動きを辿る。	行動の確認 記述の確認

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	言動の記録をたどり、人物像を捉える	漢文 『史記』 「鴻門之会」	・登場人物の性格や心情・人間関係などを整理しながら話の展開をおさえ、歴史記述の特徴を把握する。	行動の観察 ワークシート分析
	11	・長編物語という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。	多様な人間関係と物語の展開を読み取る	古文 『源氏物語』(一) 「光源氏の誕生」 (桐壺巻)	・長編物語がどう始まり、展開するかを理解する。	行動の観察 記述の確認
	12			第3回考査		
	1	・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈すること。	多様な人間関係と物語の展開を読み取る	古文 『源氏物語』(一) 「若紫の君」(若紫巻)	・登場人物の行動や心理を場面や状況に応じて的確に捉える。	行動の観察
	2	・言語と文化に密接な関係にあることや各文化の中で育まれた言葉の豊かさについて考え、ものの見方、感じ方を深めること。	翻訳の視点から日本の言語文化の特徴を捉える	随想・評論 「月の誤訳」 多和田洋子	・翻訳という行為をとおして見えてくる言語と文化の関係を考える。	行動の確認
	3	・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。	歴史的な事実と比較しながら、物語を解釈することができる。	古文 『大鏡』 「南の院の競射」	・文章の構成や展開に注目する。 ・登場人物の思惑を読み取りながらエピソードの面白さを味わう。	行動の確認 ワークシート分析
				第4回考査		

3 評価の観点

知識・技能	<p>ア 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</p> <p>イ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>ウ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。</p> <p>エ 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。</p> <p>オ 人間社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>カ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p>
思考・判断・表現	<p>A 書くこと</p> <p>ア 文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。イ 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。ウ 文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。エ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p>B 読むこと</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。イ 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈できている。ウ 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。エ 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。オ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。カ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。キ 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生理にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

4 評価の方法

評価規準に従い、小テストや定期考査の結果、提出物の内容、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

人間はどのように他者と向き合い、社会を営んでいくべきなのでしょう。理屈では解けないこの問題に対して、文学や古典作品は粘り強く、言葉の力によって道筋を示そうとしてくれます。是非、授業外でもたくさんの作品に触れて下さい。また、授業前には音読や分からない語の意味の確認は予習として必ず行ないましょう。